

# 生活の維持向上をめざして 2012春闘をたたかおう！

## —組織の強化拡大を実現しよう！—



2012年  
3月14日  
No. 907

全国一般石川地方  
労働組合 教宣部  
金沢市駅西本町3-13-5  
Tel. 076 (262) 0724  
発行人 久田友恒

### 2012春闘 要求一覧

職場名	賃上げ・統一要求	付帯要求
城東自校	<自校統一要求> ・基本給9,000円引き上げ	賃金は正、バス部門賃上げ率引き上げ、定年後再雇用者の時間給引き上げ、育児・介護休暇、有休最高25日ほか
東部自校	・最低賃金	賃金は正、育児・介護休暇(有給)、定年後再雇用者の組合員化、有休最高25日、通勤手当実費支給ほか
北鉄自校	指導員 16万円 事務・バス 15万円	定年前賃金カット廃止、若年層の是正、資格手当見直し、有休最高25日、閑散期時差勤撤廃(入社5年未満の者)ほか
北中自校	・退職金確保の各種要求	資格手当見直し、物価手当是正、教習料金の家族割引の改善、有休最高25日
羽昨自校	・裁判員制度の公休扱い	指導員の増員
能中自校	・厚生年金の報酬比例部分 相当額の支給要求	未解決の春闘・一時金の解決、有休最高25日、健診充実
加南加賀自校		賃金カット回復、未解決の春闘・一時金の解決、若年層別原資是正、資格手当の新設・見直し、制服貸与ほか
北陸冷蔵	<食品冷蔵 統一要求>	①②
市場冷蔵	・基本給9,000円 引き上げ	② 人員補充ほか
魚市冷蔵	魚市:賃金表の金額 引き上げ	② 手当改善、定年後再雇用制度の協定化ほか
天狗産業	天狗コスモス: 時給50円引き上げ	定年後の希望者全員再雇用、半日有休増、施設改善ほか
金沢製粉	芝寿し:時給50円 引き上げ	休日増ほか
林ペニヤ	9,000円	② 賃金は正、準社員の新規採用、契約社員の準社員としての登用・賃上げ基準について、休日増
門前サンケン	9,000円	①② 石川サンケン労組との同率回答、門前工場再開、通勤手当改善、若年層別原資是正ほか
丸一石油	9,000円	
北国製紙	9,000円	② 休日増、組合掲示板、退職金協定ほか
金沢市清掃	9,000円	① 定年後の希望者全員再雇用
北陸葬祭	9,000円	①②
大同テクノ	9,000円	① 大同工業正社員との賃金格差是正、大同工業へ直接雇用(正社員)働きかけ、月30時間以上の時間外割増50%、交代手当引き上げ、時間有休、死亡事故調査ほか、未解決問題
執行官室	9,000円	中退共掛金増、定年後再雇用制度の協定化
れん永昌堂	9,000円 (時給者は50円)	施設改善、勤務時間帯の改善
日本海観光	9,000円	② 65歳までの定年延長

↑①企業内最賃、②定年後再雇用者の厚生年金報酬比例部分相当額の支給要求

※ 連合石川スタッフユニオンは別途要求。

三月五日、要求を提出し、私たちの二〇一二春闘は本格的にスタートしました。すでに要求説明から団交を開始している支部分会もあります。全国一般評議会方針である平均賃上げ九千円、時給五十円または絶対額千円を中心とする賃上げ要求、年金支給開始年齢の引き上げを前にして六十歳定年退職後の希望者全員の雇用継続・無年金期間の賃金水準の引き上げなどの諸要求実現に向けて、早期解決・月



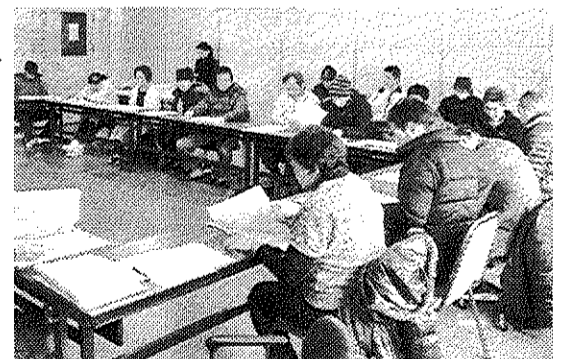
地本の春闘討論集会の様子(1/28~29小松)

内決着をめざし、がんばりましょう。日本経団連は、今春闘に

あたり、欧州発の金融恐慌の危機、超円高、三・一一大震災などによる経済環境の悪化を背景にして「ベアは論外」などと賃上げの大幅な抑え込み、さらには大手においては定期昇給の凍結あるいは見直し(廃止)にさえ言及しています。さらに、労働者・労働組合に経営者と同じ立場に立った危機感を共有させ、春闘を、働く者の生活ではなく産業・企業の生き残りのための討論の場に、ますます変質さ

日本経団連の春闘方針批判、脱原発の取り組みについて等  
**地本二〇一二春闘労働学校**  
3月21日(水) 18時30分開会  
地場産業センター・本館2階・第2研修室

せていくこともたくさんあります。私たちは、あらためて、自分と家族そして仲間の生活の維持向上を実現するためにこそ、春闘に取り組むのでなければなりません。賃金カットを強いられ苦闘する仲間も含めて、全ての支部分会で賃上げ・付帯要求の実現を勝ちとるために奮闘しましょう。



町野・志賀工場に分断されて初めての春闘を闘う門前サンケン支部の職場討議の様子(2/12門前)

三・一一大震災・東電福島第一原発事故から一年がたちました。しかしまだまだ復興・復旧にはほど遠い実情です。多くの働く仲間が雇用を失い、明日への展望を持つことさえ困難になっています。とりわけ福島原発事故に直面している人々は故郷にさえ帰れない状態に追いやられています。私たちは、あらためて、働く者の立場に立った復興・復旧を求めていかねばなりません。特に、原発事故に直面し、原発の危険性もとより、原発事故は本当にとり返しのつかないものであることは明らかになっていきます。それでも現在、政府、電力会社などは、一部

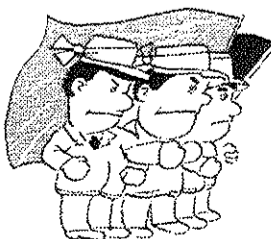
同テクノ分会などをはじめとする争議職場の闘いを支援し、職場を超えた団結を強化しながら、地本全職場が最後までともに闘いぬいていきましょう。団結をより一歩強化する春闘をつくりだしていきましょう。

**政策制度の闘いを強化し、私たちの声を反映させよう**

同時に、職場の内外を問わず、非正規雇用労働者を含めた未組織の全ての仲間にも全国一般への加入・職場での組合結成を呼びかけましょう。労働者一人一人は弱い存在です。まして不況の中では、経営者の「雇用があるだけでありがたい」と思え、といった様々な攻撃を前に反論・反撃は極めて困難です。一人でも多くの仲間の全国一般への結集を実現し、ともに支えあいながら、私たちの力をより強くがんばろう！

マスコミを活用し、電力不足キャンペーンを強化し、原発の再稼働を狙っています。脱原発の闘いのより一層の強化が問われています。さらに現在、消費税の税率引き上げが問題となつていきます。消費税は、逆進性が強く、所得の低い私たち働く者には最もつらい税金です。賃上げもままならず、年金の支給開始年齢の引き上げなど社会保障の低下が進む中で、ますます負担が大きくなっていきます。私たちの声を政権に反映させるために、職場で、地域で積極的な問題提起を行う必要があります。

**全ての労働者に全国一般への結集を呼びかける春闘を**



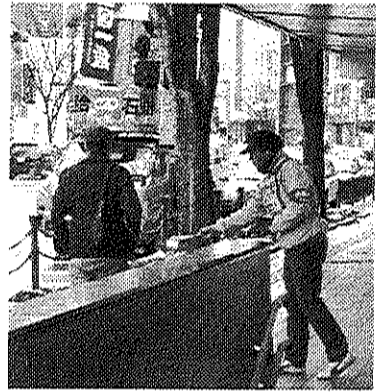
# 二月下旬～三月初め労働相談活動

## 地本の仲間が 組織化の活動に奮闘

二月下旬から三月初めにかけ、地本として組織拡大の取り組みを実施しました。全国一般評議会が毎年この時期に行なう全国一斉労働相談日(三月三～五日)を中心とする地本全職場の仲間の活動を報告します。

### 地域での個別チラシ配布

労働相談日を事前告知するため、二月二十～三月二日までの期間、「職場で困ったこと、納得できないこと、ありませんか?」と呼



びかけるチラシを、地本の全職場が職場周辺の地域住民に対して戸別ビラ入れしました。仕事が終わった後、仲間を手分けしてポストイングした職場が多かったようですが、なかには新聞折込チラシを活用した職場もありました。

### 金沢と小松での街頭宣伝・ビラ配り

二月二十六日、あいにく雪が舞う荒れ模様の中、金沢(武蔵が辻・

エムザ前)と小松(スーパー・パロー前)での街頭宣伝とビラ配りを実施しました。各職場から多くの仲間が取り組みに参加しました。震えるような寒さの中、ビラ撒きに慣れない仲間も「集中労働相談やります!」と声を出していました。街宣車の上に乗っての弁士には、社民党議員団(森金沢市議、清水内灘町議、山根県議、細野加賀市議)に多

## 繰り返す原発事故! 止めよう志賀原発!の声を さらに大きく!

二月二十五日(日)教育会館において「さよなら! 志賀原発」実行委員会主催の脱原発集会在三〇〇名を結集して開催されました。昨年七月の中央公園での三千人集会、十二月の七尾現地での五百人集会に続く、第三弾の取り組みです。地本からは十職場三十六名の仲間が参加しました。

元東芝社員で原子炉設計士の後藤政志さんが具体的に明らかにしました。また、「原発に絶対安全はない。あるとしたら動かさないことだ」と提起し、志賀原発の再稼働に突っ走る北電の動きに危機感をもって行動することを訴えました。

### 全港湾の仲間と香林坊で街宣署名

集会後、直ちに参加者は香林坊・片町の五箇所でハ

ンドマイクによる市民への訴えと署名活動に打って出ました。全国一般の部隊は全港湾の仲間とともに片町ラプロ前で、「原発のない社会を作ろう」の横断幕を広げて、吹きすさぶ寒さをものともせず頑張りました。林ベニヤからは七尾・舞鶴両工場から大部隊で駆けつけ、道行く市民に必死で訴えました。

3・11福島原発事故から一年。原発再稼働に向けた動きが活発化しています。あの悲劇を決して忘れず、志賀原発を動かさない闘いをさらに強化していこう。

### 全国一般評議会 一斉労働相談日

以上の活動にふまえ、三月三日(土)～五日(月)、地本執行委員と組織拡大委員を中心に、集中労働相談日に取り組みました。今年度は、相談場所を、地本(金沢)と林ベニヤ七尾組合事務所(能登)の二ヶ所とし

### 全国一般評議会第9回青年女性交流会

#### 仲間の闘いから学び、 春闘・地域共闘・平和運動を

三月十日(土)～十一日(日)の両日、福井県敦賀市で、全国一般の各地方労組の青年女性の仲間約八十名が結集し、第九回青年女性交流会が開催されました。石川は六名が参加しました。

初日は、田島恵一さん(連合本部アドバイザー、全国一般特別幹事)が「いま労働運動に問われていること」と題して講演し、分散会で討論。夜は懇親会で親睦を深めました。

翌日は松永寛治さん(福井労組特別執行委員)による「高速増殖炉『もんじゅ』と今後の原発について」の講演でした。その後、各地方労組の活動報告、団結ガンバローで終了しました。

各地方労組の取り組みを聞き、あらためて学びを深め

ました。電話相談と訪問相談に対応するためです。相談を担当した仲間は、過去の相談事例について検討するなどしながら、様々な相談に備えていました。



活動報告する石川労組の仲間

た。模擬団交を演習し組合員に団交のやりとりを報告したり、幹事自身が労働法などについて勉強会をもったりと、工夫して青年女性部の運動づくりをされていました。今回学んだことを石川の活動にかして皆で頑張りたいです。(近藤伸恵 書記長)

福井県敦賀市で青年交流会が行なわれました。高速増殖炉『もんじゅ』の話や原発の話など、いろいろの話題になった話がありました。(教本貴弘 副部長)

今回、青年女性交流会で田島さんの講演を聞いて思ったことは、企業内では聞えない事です。あとは労働三権について学び、当たり前のことができていないと思いました。組合が弱体化していると思うので、これからは企業の枠をこえた運動が大事だと思えます。(山口道彦 常任委員)

全国の若い人達のパワーに圧倒されました。他の職場の人達は毎年新しい人が入って来て組合が活性化されているようで、すこくうらやましく思いました。分散会では労働組合のあり方などに関して議論されました。もし労働組合がなかったら...など、レクリエーション・食事会などをセットにして、定期的に話し合いの場をもつ、組合の大切さを伝えていく事が大切だと思えました。原発にも、日本国民全体で反対していくべきだと思えました。(引地孝子 門前サンケン支部書記次長)